



## M コマンド

この章では、M で始まる Cisco Nexus 1010 コマンドについて説明します。

### management vlan

管理 VLAN を設定するには、**management vlan** コマンドを使用します。

#### management vlan

シンタックスの説明	<i>vlan-id</i>	新規または既存の管理 VLAN の番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 3967 および 4048 ~ 4093 です。
-----------	----------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	SVS ドメイン コンフィギュレーション (config-svs-domain)
----------	--

サポートされるユーザの役割	network-admin
---------------	---------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、この仮想サービスに制御インターフェイスと VLAN ID 1044 を割り当てる例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# svl-domain
switch(config-svl-domain)# management vlan
switch(config-svl-domain)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>svs-domain</b>	SVS ドメイン コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>show svs domain</b>	Virtual Supervisor Module (VSM) ドメインの設定を表示します。
<b>control vlan</b>	VSM ドメイン コントロール VLAN の VLAN ID を変更します。
<b>domain id</b>	ドメイン ID を割り当てます。

# media

VLAN のメディア タイプをイーサネットに指定するには、**media** コマンドを使用します。タイプを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**media ethernet**

**no media**

## シンタックスの説明

<b>ethernet</b>	メディア タイプをイーサネットに指定します。
-----------------	------------------------

## デフォルト

なし

## コマンド モード

VLAN コンフィギュレーション (config-vlan)

## サポートされるユーザの役割

network-admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、メディア タイプを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# media ethernet
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show vlan</b>	VLAN 情報を表示します。

# mkdir

新しいディレクトリを作成するには、**mkdir** コマンドを使用します。

**mkdir {bootflash: | debug: | volatile:}**

## シンタックスの説明

<b>bootflash:</b>	bootflash をディレクトリ名として指定します。
<b>debug:</b>	debug をディレクトリ名として指定します。
<b>volatile:</b>	volatile をディレクトリ名として指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## サポートされるユーザの役割

network-admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、bootflash: ディレクトリを作成する例を示します。

```
switch# mkdir bootflash:
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>cd</b>	現在の作業ディレクトリを変更します。
<b>dir</b>	ディレクトリの内容を表示します。
<b>pwd</b>	現在の作業ディレクトリ名を表示します。

# move

ファイルのあるディレクトリから別のディレクトリに移動するには、**move** コマンドを使用します。

```
move [filesystem:[//module/][directory/] | directory/]source-filename
     {{filesystem:[//module/][directory/] | directory/}[destination-filename] |
     target-filename}
```

## シンタックスの説明

<i>filesystem:</i>	(任意) ファイル システムの名前を指定します。大文字と小文字が区別されます。
<i>//module/</i>	(任意) VSM の ID を指定します。有効な値は <b>sup-active</b> 、 <b>sup-local</b> 、 <b>sup-remote</b> 、または <b>sup-standby</b> です。ID では、大文字と小文字が区別されます。
<i>directory/</i>	(任意) ディレクトリの名前を指定します。大文字と小文字が区別されます。
<i>source-filename</i>	移動するファイル名を指定します。大文字と小文字が区別されます。
<i>destination-filename</i>	(任意) 移動先ファイルの名前を指定します。この名前は 64 文字以下の英数字で、大文字と小文字が区別されます。

## デフォルト

デフォルトの移動先ファイル名は、移動元のファイル名と同じです。

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## サポートされるユーザの役割

network-admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**copy** コマンドを使用すると、ファイルのコピーを作成できます。



### ヒント

同じディレクトリ内でファイルを移動することで、ファイル名を変更できます。

## 例

次に、別のディレクトリにファイルを移動する例を示します。

```
switch# move file1 my_files:file2
```

次に、別のファイル システムにファイルを移動する例を示します。

```
switch# move file1 slot0:
```

次に、別の VSM にファイルを移動する例を示します。

```
switch# move file1 bootflash://sup-remote/file1.bak
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>cd</code>	現在の作業ディレクトリを変更します。
<code>copy</code>	ファイルのコピーを作成します。
<code>dir</code>	ディレクトリの内容を表示します。
<code>pwd</code>	現在の作業ディレクトリ名を表示します。

# mtu

インターフェイスの Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) サイズを設定するには、**mtu** コマンドを使用します。設定済みの MTU サイズをインターフェイスから削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**mtu size**

**no mtu size**

## シンタックスの説明

<i>size</i>	MTU のサイズを指定します。指定できる範囲は 1500 ~ 9000 です。
-------------	---

## デフォルト

1500 バイト

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション (config-if)

## サポートされるユーザの役割

network-admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、MTU サイズを 2000 に設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface port-channel 2
switch(config-if)# mtu 2000
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show interface</b>	インターフェイスに関する情報を表示します。この中に MTU サイズが含まれています。

